



第6回

コンテキスト管理

公式の教材を、順番に

Anthropic 公式 Claude Academy 「Claude Code 101」

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Claude Code 101 / Context management

原文の流れと節の並びをそのままに、要点を落とさず日本語にしています

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 **6** 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第6回

今日のレッスン



原石工房

Claude Code 101 の6つめ

原題 Context management

訳 コンテキスト管理

5つの節と、最後にまとめがあります

このレッスンの流れ



原石工房

教材の並びどおり。この番号が、このあとの見出しに出てきます

- ① コンテキスト ウィンドウとは何か
- ② いっぱいになると、何が起きるか
- ③ 3つの命令と、どちらをいつ使うか
- ④ 場所を節約するコツ

① コンテキスト ウィンドウとは何か

原題 What is the Context Window?

一度に持っていられる量には、限りがある

コンテキスト ウィンドウ

打ち込んだ文

読んだファイル

動かした道具

道具が返してきたもの

この4つが、どれも同じ入れ物を使う
入れ物の大きさは、変えられない

机の広さが決まっている、と思えばいい

コンテキスト ウィンドウは、
Claude が記憶しておける量にあたります

打ち込んだ文、読んだファイル、動かした道具、その道具が返してきたもの。どれもこの量を使います

この量には限りがあります。だから、使い方が大事になります

① 何が、入れ物の場所を使っているか



原石工房

コンテキスト ウィンドウ (大きさは決まっている)

打ち込んだ文

こちらが書いた頼みごと

読んだファイル

関わりのあるファイルの
中身

動かした道具

調べる・書き換える・命
令を動かす

返ってきたもの

その道具が返した結果

いっぱいになると、自動でまとめ直される (=細かいところが落ちる)

「/context」と打つと、いまの使い具合が見られる

減らせるのは、頼み方と、手分けの仕方

② いっぱいになると、何が起こるか



原石工房

原題 What Happens When Context Fills Up

いっぱいになる前

やりとりが全部そのまま残っている

細かいところまで、覚えている

自動で圧縮されたあと

大事なところは、短くまとめ直される

もう要らない道具の返事は、捨てられる

↓ このとき、細かいところが落ちることがある

限りに近づくと、自動で「圧縮」が
起きます

大事なところを要約し、もう要らな
い道具の返事を捨てます

このとき、細かいところが落ちるこ
とがあります

減るのは中身。だから、先に大事なことは書いておく

① ② ここで出てきた言葉



原石工房

まず2つ

コンテキスト ウィンドウ

一度に持っていられる情報の
量。作業中の机の広さのような
もの

圧縮

それまでのやりとりを短くまと
め直すこと。細かい話は消える
ことがある

③ 3つの命令



原石工房

原題 Commands

使える命令は、3つ

/compact

その時点までを、まとめ直す

/clear

全部を消して、新しく始める

/context

いま、どれだけ使っているかを見せる

打ち込むのは、この3つだけ

/compact 自分の合図で、その時点までを圧縮します

/clear 全部を消して、新しく始めます。前のことは覚えていません

/context いまどれくらい使っているかを見せます。全体の大きさ、何にどれだけ使っているか、その絵が出ます

③ どちらを、いつ使うか

原題 When to Use Which



続けるなら compact、切り替えるなら clear

/compact 1つの仕事を続けている途中で、限りに近づいたとき

/clear 新しい仕事を始めるとき。前の話に引っぱられないように

CLAUDE.md に書いておけば、始め直しても覚えていてもらえます

③ ここで出てきた言葉



原石工房

2つ

命令（コマンド）

「/」から始まる、Claude Code
への言いつけ

CLAUDE.md

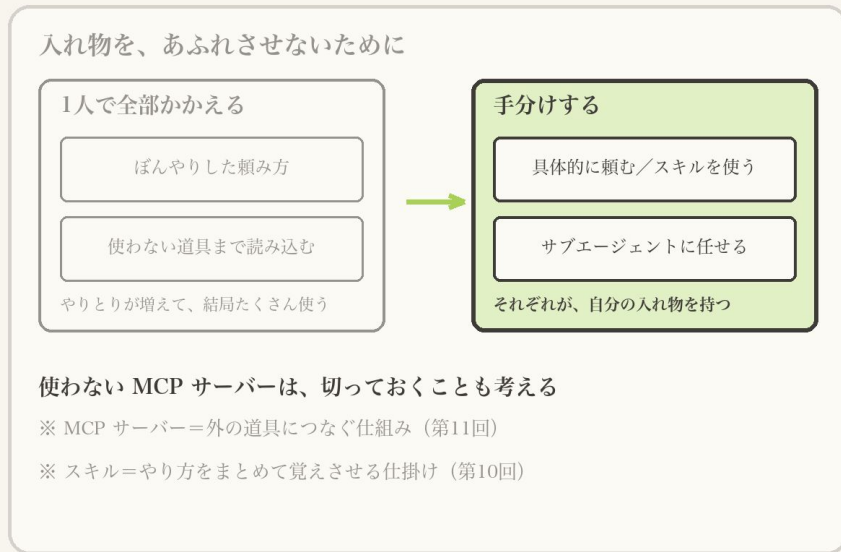
そのフォルダでの決めごとを書
いておくファイル（第5回）

④ 場所を節約するコツ



原石工房

原題 Tips for Saving Context Space



1人で抱えない。これがいちばん効く

ぼんやりした頼み方は、短く見えても高くつきます。やりとりが増えるぶん、結局たくさん使います

MCP サーバーは使わない道具まで読み込みます。要らないなら、切っておくことを考えます

スキルを使うことも考えます。MCP より軽く済みます

④ サブエージェントに手分けさせる



原石工房

入れ物を、あふれさせないために

1人で全部かかえる

ぼんやりした頼み方

使わない道具まで読み込む

やりとりが増えて、結局たくさん使う

手分けする

具体的に頼む／スキルを使う

サブエージェントに任せる

それぞれが、自分の入れ物を持つ

使わない MCP サーバーは、切っておくことも考える

※ MCP サーバー＝外の道具につなぐ仕組み (第11回)

※ スキル＝やり方をまとめて覚えさせる仕掛け (第10回)

サブエージェントは、別の担当として動きます

それぞれが、自分のぶんの入れ物を持ちます

※ サブエージェント＝別の担当として動く
Claude (第5回で出てきました)

1人で抱えない。これがいちばん効く

④ ここで出てきた言葉



原石工房

2つ

MCP サーバー

外の道具に Claude をつなぐ仕
組み（第11回）

スキル

やり方をまとめて覚えさせてお
く仕掛け（第10回）

まとめ



原石工房

原題 Recap

使える命令は、3つ

/compact

その時点までを、まとめ直す

/clear

全部を消して、新しく始める

/context

いま、どれだけ使っているかを見せる

/compact 長くなったやりとりを、まとめ直す

/clear 新しく始める

具体的に頼む

打ち込むのは、この3つだけ

まとめ (つづき)



原石工房

入れ物を、あふれさせないために

1人で全部かかえる

ぼんやりした頼み方

使わない道具まで読み込む

やりとりが増えて、結局たくさん使う



手分けする

具体的に頼む／スキルを使う

サブエージェントに任せる

それぞれが、自分の入れ物を持つ

使わない MCP サーバーは、切っておくことも考える

※ MCP サーバー＝外の道具につなぐ仕組み (第11回)

※ スキル＝やり方をまとめて覚えさせる仕掛け (第10回)

/context で、いまどれだけ使っているかを見る

サブエージェントに手分けさせる

1人で抱えない。これがいちばん効く

今回のまとめ



原石工房

この回で押さえるところ

- ・一度に持っていられる量には、限りがある
- ・いっぱいになると自動でまとめ直される。細かいところは落ちる
- ・続けるなら /compact、切り替えるなら /clear
- ・覚えていてほしいことは CLAUDE.md に書いておく
- ・1人で抱えず、手分けさせる

次回



原石工房

Claude Code 101 の7つめ

原題 Code review

訳 Codeレビュー

全51回の、7回目です

あなたなら、どこで新しく始め直しますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く